

事項	青森県内のメロンに初めて発生したキュウリモザイクウイルス（CMV）ーラゲナリア系の特徴										
ねらい	キュウリモザイクウイルスーラゲナリア系がメロンに発生しているのが本県で初めて確認されたので、その特徴を示し防除対策上の参考に供する。										
指導参考内容	<p>1 発生状況 発生地域：津軽地域 作型：雨よけトンネル栽培（5月下旬定植） 時期：6月下旬～7月下旬頃 品種：「タカミ」「レノン」いずれも台木品種は「スーパーエース」 発生割合：20～60%以上</p> <p>2 特徴</p> <table border="1" data-bbox="331 831 1433 1323"> <tr> <td data-bbox="331 831 501 909">病徴</td> <td data-bbox="501 831 1433 909">葉の黄化、萎縮、モザイク、葉脈えそ、葉枯れ、茎および葉柄のえそ、果実のネット不良、果肉の褐色えそ点、糖度低下。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 909 501 1173">診断</td> <td data-bbox="501 909 1433 1173">葉に特徴的な葉脈えそ症状を示した株で簡易診断キットによりCMV陽性となった場合、CMV-ラゲナリア系である可能性が高い。 メロンえそ斑点ウイルス（MNSV）によるえそ斑点病に類似する場合があるが、CMV-ラゲナリア系では、 ①若い葉にモザイク症状が現れる、 ②葉脈えそは、白～褐色のえそが葉脈を縁取るように生じる、 点が異なる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 1173 501 1252">自然感染植物</td> <td data-bbox="501 1173 1433 1252">ウリ科、ナス科等多数の作物およびキク科、アブラナ科等多数の雑草。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 1252 501 1323">媒介様式</td> <td data-bbox="501 1252 1433 1323">ワタアブラムシ等のアブラムシ類による虫媒伝染により感染が広がる。土壌伝染、種子伝染はしない。管理作業等で容易に汁液伝染する。</td> </tr> </table> <p>3 防除対策 （1）罹病株は、早急に抜き取り適正に処分する。 （2）アブラムシ類の防除を徹底する。 （3）罹病株に触れた場合は、手指や器具を充分洗浄する。 （4）周辺雑草を除去する。</p>			病徴	葉の黄化、萎縮、モザイク、葉脈えそ、葉枯れ、茎および葉柄のえそ、果実のネット不良、果肉の褐色えそ点、糖度低下。	診断	葉に特徴的な葉脈えそ症状を示した株で簡易診断キットによりCMV陽性となった場合、CMV-ラゲナリア系である可能性が高い。 メロンえそ斑点ウイルス（MNSV）によるえそ斑点病に類似する場合があるが、CMV-ラゲナリア系では、 ①若い葉にモザイク症状が現れる、 ②葉脈えそは、白～褐色のえそが葉脈を縁取るように生じる、 点が異なる。	自然感染植物	ウリ科、ナス科等多数の作物およびキク科、アブラナ科等多数の雑草。	媒介様式	ワタアブラムシ等のアブラムシ類による虫媒伝染により感染が広がる。土壌伝染、種子伝染はしない。管理作業等で容易に汁液伝染する。
病徴	葉の黄化、萎縮、モザイク、葉脈えそ、葉枯れ、茎および葉柄のえそ、果実のネット不良、果肉の褐色えそ点、糖度低下。										
診断	葉に特徴的な葉脈えそ症状を示した株で簡易診断キットによりCMV陽性となった場合、CMV-ラゲナリア系である可能性が高い。 メロンえそ斑点ウイルス（MNSV）によるえそ斑点病に類似する場合があるが、CMV-ラゲナリア系では、 ①若い葉にモザイク症状が現れる、 ②葉脈えそは、白～褐色のえそが葉脈を縁取るように生じる、 点が異なる。										
自然感染植物	ウリ科、ナス科等多数の作物およびキク科、アブラナ科等多数の雑草。										
媒介様式	ワタアブラムシ等のアブラムシ類による虫媒伝染により感染が広がる。土壌伝染、種子伝染はしない。管理作業等で容易に汁液伝染する。										
期待される効果	キュウリモザイクウイルスーラゲナリア系の発生の特徴を明らかにすることにより、早期発見が可能となり、被害拡大を防止することができる。										
利用上の注意事項	<p>1 キュウリモザイクウイルスーラゲナリア系はヒョウタン属の植物に感染させると全身に症状が現れるウイルス</p> <p>2 ウイルス簡易診断キットは、下記に示すとおり。 Agdia社 イムノストリップキット（CMV用） エイコープロダクツ社 植物ウイルス診断キット（CMV用、MNSV用）</p>										
問い合わせ先（電話番号）	農林総合研究所 病虫部（0172-52-4314）	対象地域	県下全域								
発表文献等	平成23年度 試験成績概要集（農林総合研究所）										

【根拠となった主要な試験結果】



写真1 メロンのモザイク症状 (平成23年7月29日撮影)



写真2 メロンの葉脈えそ症状 (平成23年7月29日撮影)



写真3 メロンの葉枯れ症状 (平成23年7月29日撮影)



写真4 メロンの茎えそ症状 (平成23年7月29日撮影)



写真5 メロン果実のネット不良 (平成23年7月30日撮影)

表1 分離ウイルスの宿主範囲および病徴
(平成23年 青森農林総研)

接种植物	病徴
<i>Chenopodium quinoa</i>	CS, NS/-
<i>Nicotiana glutinosa</i>	-/M
<i>N. occidentalis</i>	-/M
ソラマメ (打越一寸)	NS/-
メロン (アムス)	-/M
キュウリ (夏のめぐみ)	(CS)/M
スイカ (縞王)	CS/-
ヒョウタン (大ひょうたん)	CS/M

(注) 1 CS = 退緑斑, NS = えそ斑, M = モザイク, () = ときに現れる, - = 無病徴
2 病徴は、接種葉 / 上位葉で示す



← (参考) メロンえそ斑点ウイルス (MNSV) による大型えそ斑

(参考) 簡易診断キット価格
Agdia社: CMV用 25回分 定価 ¥19,000 (1回¥760)
エイコープロダクツ社: CMV用、MNSV用 20回分 定価 各¥7,900 (1回¥395)